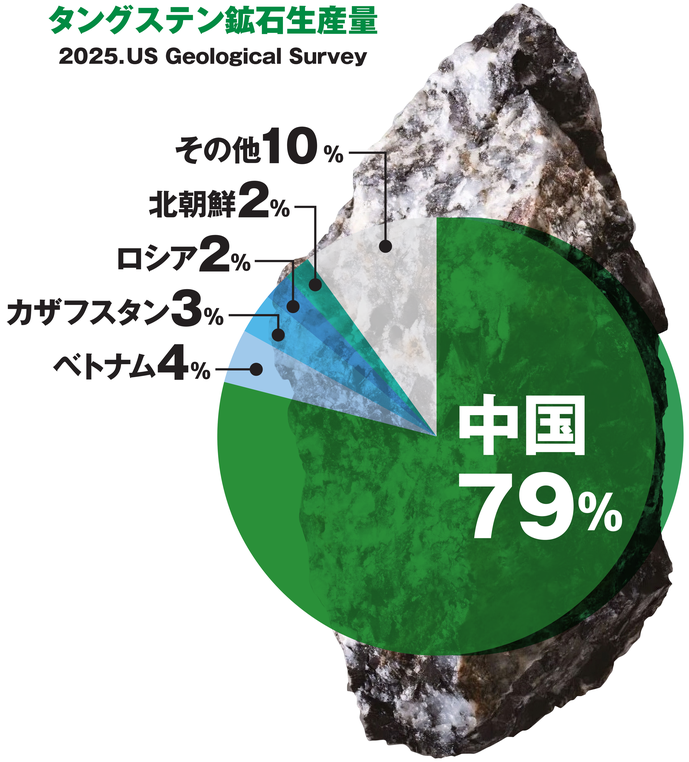
リサイクルで リスクを回避

レアメタルの供給は常に地政学的リスクを内包しています。昨今状況は一段と厳しくなっており、超硬合金の主原料であるタングステンについても調達難や価格高騰が続いています。
これを打開するためタングステン鉱石などの調達多角化や休止鉱山再開などの対応策がとられていますが、タングステンの安定調達に対する現実的な最適解はリサイクルです。

三菱マテリアルは2001年からグループ会社の日本新金属株式会社秋田工場でタングステンのリサイクルを始めました。**現在お客様から回収した使用済み超硬工具のタングステンは100%三菱マテリアルの工具に生まれ変わっています。**今後もグループ一体となってタングステンの資源循環を推進し、超硬工具の安定供給を図ってまいります。

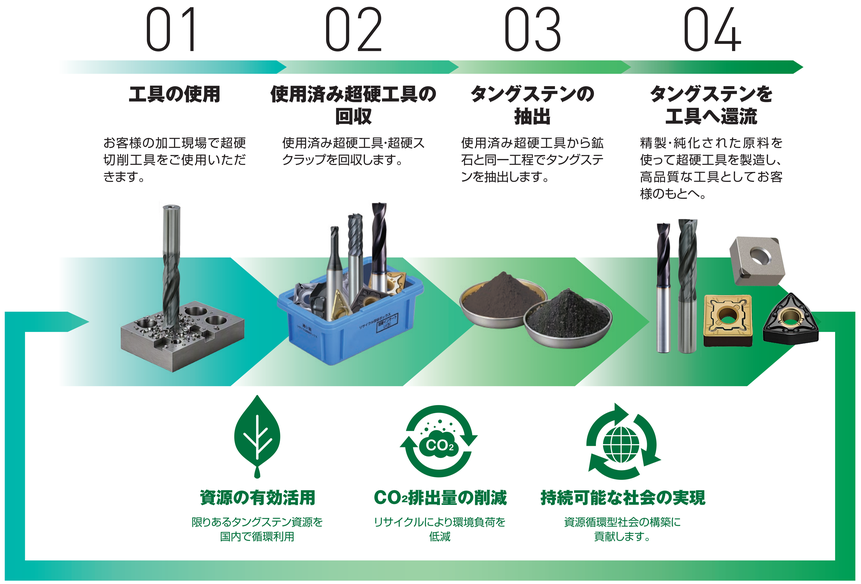
タングステン鉱石生産量

2025.US Geological Survey



タングステンの循環

国内で資源を循環利用し、持続可能な社会に貢献します。



三菱マテリアルは日本機械工具工業会が推進する
超硬工具リサイクルガイドラインのリサイクル窓口事業者に指定されています。

日本新金属株式会社のタングステン精錬工程

超硬スクラップを原料に、高純度のタングステン粉・炭化タングステン粉を製造します。

